

はたらくレシピ

はたらくパパとママのライフスタイルをご紹介 Vol.9
アップグレードし続けるために

育児の成長は「仕事力」を向上させる



ワークとライフの充実は相乗効果を生む



せいけ こうぞう 清家 浩三さん

1961年生まれ。
大学院卒業後、機械エンジニアとして8年間勤務し、営業職へ転職。前職では11年務め、転職の辞令を機に転職。「営業職で作った自分の地盤は財産」現在の仕事は転職がないのを条件に選択。

- 家族構成/妻、子ども二人の4人家族
- お子さまの年齢・預け先/
長男(6才)小学校、次男(4才)保育園
- 勤務先/外資系保険会社 営業
- 勤務時間/9:00~19:00 週5日
- 勤務歴/15年

タイムスケジュール

- 4:30 起床、炊事など
- 5:00 子育てブログ書き
- 5:30 日経新聞から目についた記事をFBに投稿、自己啓発
- 6:30 その後の朝食までの時間は仕事の準備・メールチェック等
- 7:30 長男小学校へ、次男起床
- 8:30 保育園へ送り出勤
- 9:00 出社
- 19:00 帰宅、夕食、子どもと入浴、宿題をみる、家事など
- 21:30 就寝

朝時間をフル活用

全力で子どもとの時間を楽しむ

- 人の悩みには家庭や職場の事など、本人だけでは解決できないものが多く、お金の問題を解決するだけでは、悩みは解消されません。「気持ちに寄り添うことが応援になるのでは」と思い、自己啓発のメール配信やSNS投稿を行っています。インプットと実践でお手本になれるよう、お手本となれない部分は一緒に行動しようと自分を詳しく開示しています。自分を見せない人は信用されません。実践することが重要だと思っています。
- 子どもが二人になってからの2~3年は「仕事ができないかな？」と思うくらい大変でした。長男が小学生となりようやく落ち着きましたが、成長とともに新たな問題もでてくるものです。子どもとかみ合わないと感じるときは、長く細かく子どもを眺めます。すると、子どもとおして自分自身と向き合い、子どもへの思いを確認できます。生涯で子育ての時間はわずかです。「子育てをやり抜く」しんどいですが手間をかけることを惜しみません。
- 大学のサークルで始めたパルーンアートや手品は、年齢問わず楽しんでもらえることから小学校、高齢者・障がい者施設、地域のイベントで披露するようになりました。呼ばれる所にはいくらかも関わっていくタイプで、テニスリーグの世話役や業種交流会やNPOの会員も楽しんでやっています。次男が小学生になる頃には、施設の慰問も一緒に行けるようになるので、その時が待ち遠しいですね。

Q. 会社との関係作りは?

私の仕事スタイルは連携して何かをするというより、自分の中で解決し成果を上げていきます。自分の裁量で時間が使えることを活かして、子育てにかかわってきました。子育てを優先して業績が低迷した時期がありましたが、長期的な視点をもった結果、子どもの成長とともに自分に合った効率的な仕事の仕方を見つけ、磨いていくことで、仕事のパフォーマンスを上げることができています。

Q. 大切にしている自分時間は?

お客様の人生に伴走するため情報や知識のインプットの時間を欠かしません。契約いただいたお客様に安心してライフプランを任せられるようにアップグレードし続けることを自分に課し早朝時間を活用しています。

Q. これから働く&働きたい方へ

働かされていると思うとしんどいけれど、「身に着いたスキルで働く=自分が主体で働く=楽しい」を実践し、長く働くため機械に取って代われないスキルと心構えをもち、主体的に働いていきましょう。

ワークライフ・
コラボからの
お知らせ

WORK LIFE COLLABO

第20回 コムズフェスティバル

地域で育てたい! 子どもの「非認知能力」
~人生に必要なIQ以外のチカラとは~

- 日時: 2月2日(土) 14:30~16:30
- 会場: コムズ 4F 視聴覚室
- 参加費: 500円

講演

中山 芳一 さん

岡山大学 全教育・学生支援機構准教授
(一社)子ども学びデザイン研究所所長 等

パル
ン
ア
ー
ト

地域の小学生に関わる
企業の取り組み事例を知ろう!
愛媛トヨタ自動車(株)、(株)昆布森



今回の取材担当: NPO法人 ワークライフ・コラボ

一色 淑恵

2児の母。女性の起業を応援する事業を担当しています。

【FB】【HP】 ワークライフ・コラボ

検索